

会議録審議会等

審議会等の名称	平成25年度 第1回山口市環境審議会
開催日時	平成26年1月15日(水曜日) 13:30~14:50
開催場所	山口市不燃物中間処理センター 管理棟研修室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	中西委員(会長)、伊原委員(副会長)、赤星委員、糸原委員、岩政委員、上重委員、浮田委員、東福委員、福浪委員、前田幸子委員 敬称省略・順不同(10人)
欠席者	なし
事務局	(環境部): 徳永部長、山田理事、岡崎次長、小野参事 (環境政策課): 飯田課長、江村主幹、坂本主幹、田中主幹、上田室長 今谷副主幹、山村主査 (環境衛生課): 岸本主幹 (環境施設課): 小松主査 (資源循環推進課): 山田主幹、児玉主幹 (15人)
議題	・平成25年度環境概要(山口市環境基本計画年次報告書)(案)について
内容	環境部長の挨拶の後、会長の進行により議事に入った。 <会長> それでは、本日の議長を務めさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。当審議会は、原則として公開し、議事録についても公表することとしていますが、これでよろしいでしょうか。 <委員> (異議なし) <会長> ありがとうございます。異議なしということで、当審議会は原則公開とし、議事録についても公表することとさせていただきます。それでは、早速議事に入りたいと思います。お手元の次第にありますように、本日の議題1の、「平成25年度版環境概要について」ですが、このことについて、事務局から説明をお願いいたします。

<事務局> 環境概要の重要プロジェクトを中心に説明

<会長>

只今、事務局から「平成25年度版環境概要について」の説明がありました。ご審議をお願いいたします。委員の皆さんから質問等がございましたら、挙手をお願いします。

<委員>

進行管理指標ですが、項目というか割合が非常に多いのですが、この割合の出し方はどうやっておられるのですか。アンケートの方法、人数はどうされていますか。

<委員>

アンケート指標につきましては、企画経営課が実施しております、まちづくり計画の進行管理の観点からアンケートを実施しております。このアンケートの中の項目から指標と数値を持ってきております。実施アンケートの数値は3,000から3,500であろうと考えております。

<委員>

抽出方法は、どうされているのですか。

<委員>

無作為抽出です。

<委員>

費用については、どのぐらいかかっているのでしょうか

<委員>

申し訳ありません。現在資料を持ち合わせていませんので、調べまして報告させていただきます。

<委員>

進行管理の指標につきましては、効果が大きいものと、そうでないものがあるかと思いますが、羅列して書いてありますので、どれが重点項目であるとか表示の方法でメリハリをつければ、かなり表を見るのに見やすくなるのではと思いました。それから、電気自動車の件、道の駅長門峡の電気自動車の充電器ですが、今後は企業等との連携も必要ではと思いますし、整備方針を聞かせていただければと思います。それから森林・林業ビジョンですが、林業は採

算性というか、一つの産業ですので、どのような支援体制というのを教えていただければと思います。それから、19ページの新エネルギーへの取り組みですが、これは太陽光発電が非常に多くて、風力発電、バイオマスもありますが、採算性ベースで見た時にどうなのかなと思います。ここでは公共施設が主ですので、民間の方へ移行をさせていくのに必要な取り組みや支援、どんな体制か教えていただければと思います。

<委員>

指標の見せ方につきましては、ご意見として承らせていただきます。次の急速充電器の設置についてですが、市が設置しました実績は長門峡の1基となります。民間であれば、市内の車屋さん、ディーラーに2基あります。また、国の補正予算事業で、次世代自動車インフラ整備促進事業というのがあります。有利な制度に変わってきています。今後の市の電気自動車の充電器の整備ですが、今、予算折衝中ではありますが、1基整備したいと考えています。それから民間の車メーカーの4社連合というのがあります。積極的にEVの普及、インフラ整備を進めていくということでもあります。どちらにしましても、インフラが先なのか、価格が下がるのが先なのか、航続距離が伸びるのがいいのかというのはありますが、市としても方向性を検討していきたいと考えています。それから再生可能エネルギーの関係でございますが、採算性の観点からいいますと、まだまだかかるのかなと思います。固定価格買取制度が一昨年の7月から始まりまして、例えば、太陽光につきましては、当初の42円が38円まで下がってきています。ここにも掲載をしていますが、浜内のメガソーラー、現在一期工事が完了した中で、二期工事をどうするのかという問題、やはり採算性の面が課題であります。バイオマスにつきましては担い手の問題、収集コスト、輸送コストが非常にかかるということで事業化の難しいエネルギーと思っています。材としての活用は進む可能性はあるわけですが、バイオマスとしての活用としては、難しいと思っています。風力につきましては、完全な民間事業ということで、以前の環境審議会でもお話をさせていただきました。環境影響調査を始める年になりましたが、事業者の方が大手家電メーカーの傘下に入った関係で事業が遅れている状況です。民間への支援という形では、家庭用の太陽光につきましては、支援制度を作ってきていまして、今年度は対象を変えまして実施していこうと思っています。民間事業者への支援ということであれば、検討していない状況です。林業施策による支援ですが、長伐期施策による搬出拡大を推進するために、森林所有者のみでなく、産官学各主体が協働した取り組みをバックアップできるような形や、公共施設建設の際の木造化推進であったり、舵取りが出来るよう支援を考えていきたいと思っています。

<委員>

4 ページからの指標で、気になる点がいくつかあるのですが、河川における BOD の平均値、これを年次的に調査されていると思うのですが、河川といっても沢山あるので、この調査地点はどこになっているのでしょうか。上流と下流で数値も違うでしょうし、これを河川一括で平均値として取り上げるのはどうでしょうか。それと大気環境も同じですね。それから太陽光発電の件数ですが、20 ページにも詳しく書いてありますが、7 ページの上の段の数字は件数でしょうか、下の数字は何でしょうか、補助金額でしょうか。それから細かいことですが CO₂ の表記で 2 が大きかったり、小さかったりバラバラですので表記の統一をした方がいいと思います。

<委員>

まず、太陽光発電の件数ですが、上の段は設置件数で、下の段のかつこ書きは件数の累計でございます。それから河川の BOD の件につきましては、調査箇所等、後日改めて回答させていただきます。CO₂ の表記につきましては訂正をいたします。

<委員>

騒音の環境指標の達成率はどうなっているのでしょうか。それとバイオディーゼルの、小郡でやっておられると思うのですが、事業系なのか、家庭系なのか。また割合はどうなっているのでしょうか。それからごみ処理手数料の改定の効果は。浜内のメガソーラーの規模はどのくらいでしょうか。

<委員>

道路交通による騒音の指標に関しましては、73 ページの資料編に測定箇所と測定値を掲載しており、達成割合を算定しております。廃食用油の件ですが、委員さんのご指摘のとおり小郡の方で精製しています。事業系につきましては約 14% で、これは旧小郡町時代に導入した施設ですので、合併の経緯で旧小郡の一部の事業所から集めて精製をしています。合併後は家庭系を中心に事業を進めています。次に手数料の改定でございますが、平成 24 年 10 月 1 日から可燃ごみのごみ袋の手数料と可燃ごみの持込手数料の改定をいたしております。効果につきましては、お手元の資料の 79 ページをご覧くださいと思います。詳細な分析につきましては、現在鋭意進めているところでございます。可燃ごみの年間量がありますが、平成 22 年度に比べまして、23 年度は約 1,700 t 増加しておりましたが、平成 24 年度の可燃ごみは手数料の改定によりまして前年比で 1.27% 搬入量が減少したところでございます。それから浜内メガソーラーの質問ですが、面積が 47,460 m²、14,265 枚のパネルが設置されている状況でございます。発電エネルギーは予測です

が、発電出力は一般家庭で約600世帯の消費量に相当する年間約360万kw/時、3.6Mwといった規模でございます。

<委員>

大気環境の指標の中にPM2.5は入っているのでしょうか。

<委員>

PM2.5は入っていません。県内に注意喚起という形で発表があった場合、市としましては、市のホームページや、防災メール等を通じまして周知している状況です。

<委員>

私は大歳地区に住んでいるのですが、ごみの収集ですね。ごみは収集所に出されるのですが、ステーションがあったり、道路の沿道にそのまま出したりとバラバラなんです。収集車が来るのが早い時はいいですが、遅い時は文化・歴史のまちといいながら、ごみそのままであり、非常に矛盾を感じます。カラスや猫も多いので、ごみ収集のステーションの整備として統一はできないのでしょうか。それから、指標の中の出前講座の回数、実施した効果はどのぐらいあるのでしょうか。

<委員>

ただいまの質問ですが、ごみステーションは日々生活の中で欠かせないものであり、環境の美化・景観を含めまして、きれいにされていなければいけない、ということは認識しております。ただ、ごみステーションは自治会の管理・所有でございます。自治会の方で新たに整備をされる際には、上限がございますが、山口市が半額を補助する制度もございます。市としましては、出来る限りステーションとしての整備をお願いしたいのですが、道路等で場所が無いという箇所は市内でもたくさんあります。自治会の方で景観等も含めまして、普及啓発を進めていきたいと考えています。次にごみ分別の出前講座ですが、指標は回数を載せていますが、市の職員が出向きまして、詳細に説明を行います。どのぐらいの効果があるというのは、指標からの読み取りは非常に難しいです。ただ、企画経営課の方で取組んでいます、山口市のまちづくりアンケートの中に分別をしている人の割合からも、普及啓発につながっているものと思います。環境教育の件ですが、先ほどは資源循環推進課から、分別の視点でお答えをしましたが、環境教育の中では地球温暖化防止やエネルギーの問題であったり、いろいろな視点で行っています。この中で回数の多いものとしては、山口市地球温暖化対策地域協議会が出前講座を行ったり、講演会を開催したり、幅広く興味を持っていただけるよう、環境部としても引き続き実施していく考

えです。資料は14ページ、15ページを見ていただければと思います。

<委員>

今年度、小郡地域交流センターで実施された、グリーンカーテンの講習会の結果をお聞きして、もし良ったら私も実施したいと思います。

<委員>

自然薯のグリーンカーテンということで、今回初めて実施したのですが、ゴーヤの苗は配布していたのですが、自然薯でも出来ると聞いたので、今回実施してみました。その中で、実は私も植えてみたのですが、私はうまくいきませんでした。ただ、先日、山口大学の農学部の先生に聞くところ、上手に出来たということでした。やり方によれば上手に出来るということだろうと思います。今回の配布でいろいろな意見をいただきましたが、ゴーヤの方は簡単に出来るけれども、自然薯の方は難しかったのかなと思います。

<委員>

ごみ情報ダイヤルについてですが、平成22年度からの相談件数が載っているのですが、件数が増えてきていますよね。これは周知されたから、皆さんが電話をして聞くのか、困っている人が増えているからではと思います。この相談の中から、ごみの減量やリサイクルの方に、市民の意識が向くような改善が出来たということはあるのでしょうか。

<委員>

ごみ情報ダイヤルですが、年間を通じまして、内容の記録を取っています。質問の内容を反映して、ごみ分別の手引きの作成をしたり、ごみ収集カレンダーによくある質問として、分かりやすく市民の皆さんへお知らせを行っています。平成23年度から平成24年度は手数料の改定を行ったことから、件数が急激に増加しています。

<委員>

53ページの土を利用するコンポストですが、これをもう少し具体的に教えてください。

<委員>

家庭でコンポストや電動生ごみ処理機を購入された際に補助を行っているものでございます。補助率は購入金額に2分の1でして、コンポスト、生ごみ処理機は上限が3千円、電動の場合は上限が三万円です。コンポストは土の中の微生物の力を使いまして、生ごみを処理するものです。よく畑の中に緑色の

容器を埋めてあるのが見られると思いますが、それが土を利用したコンポストになります。

<委員>

緑色の大き目の容器を購入されるための補助ということですね。

<委員>

はい。

<委員>

廃食用油から精製されたBDFをどのように、何に使っているかということです。燃料としてボイラーで燃やしているのか、その他の利用方法があるのか、回収方法も各ガソリンスタンドに持っていけば回収するとか方法はあると思います。

<委員>

廃食用油、BDFの活用方法としましては、身近にあります貴重な有効資源だと思います。現在あります精製する機械ですが、1回あたり精製できる量が、1000というものでありまして、精製する量にも上限があります。利用の方は山口市のパッカー車をはじめ、車両の燃料としてそのまま使用しています。軽油等を混ぜて使用するのではなく、BDFを燃料として、市の収集車両を走らせています。最近の車両は電子制御等で使用できる車両も限られていますので、旧型の4台のみで使用しています。今後は費用対効果も含めまして、廃食用油の有効活用、ボイラーであるとかは考えていきたいと思います。

<会長>

他にございませんか。なければ、次のその他にいきたいと思います。

<委員>

次回の環境審議会は、3月下旬の開催を予定しておりまして、議題につきましては、現在、進めております、山口市地域新エネルギービジョンの改定内容及び嘉川の江崎地区における次期最終処分場整備事業の進捗状況等について、御協議させていただきたいと考えております。以上でございます。

<会長>

他にございませんか。それではここで、本日の審議を終わりたいと思います。これからの進行は、事務局にお返しいたします。

	<p><事務局></p> <p>委員の皆様、お疲れ様でした。本日皆様からいただきました、貴重なご意見につきましては、今後の環境行政に活かして参りたいと思います。それから宿題もたくさんいただいていますので、改めて回答させていただきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。</p>
<p>会議資料</p>	<p>1 平成25年度環境概要（山口市環境基本計画年次報告書）（案）について</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>環境部 環境政策課 環境企画担当 TEL 083-941-2180</p>